

# 着磁パルサリング内蔵ハブユニット

## Magnetized Pulser Ring Integrated Hub Unit



2DACF028G-2R

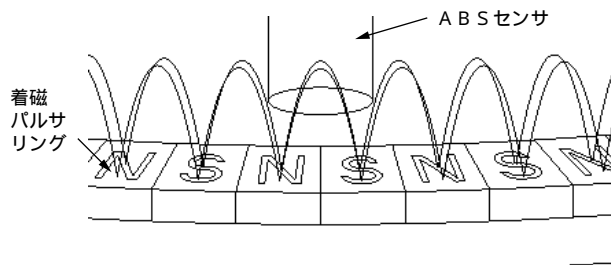
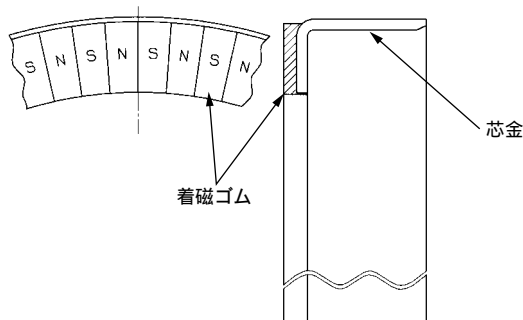
凍結路などのすべりやすい路面でも安定した制動力が発揮できるアンチロックブレーキシステム(ABS)を搭載する自動車が増えている。ABSは車輪速を検知しブレーキ油圧をコンピュータ制御する。今回、車輪速を検知するためのパルサリングに多極磁石を応用して小型化し、これをハブユニットに内蔵した着磁パルサリング内蔵ハブユニットを開発した。

### 特長

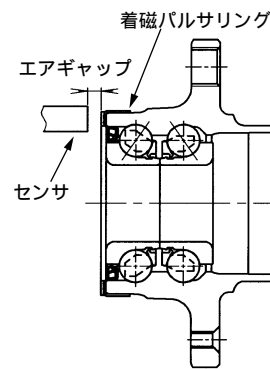
- ・高磁束密度化によりABSセンサのエアギャップ調整が容易
- ・ピッチ精度の向上によりABSの制御向上
- ・歯車タイプのパルサリングに比べ小型軽量でシールと一体化可能
- ・バイアス磁石の廃止によりABSセンサの小型化が可能
- ・自動車の使用環境を考慮し、極低温から高温までの広い温度範囲での信頼性を確保
- ・優れた耐油性、耐薬品性

### 構造

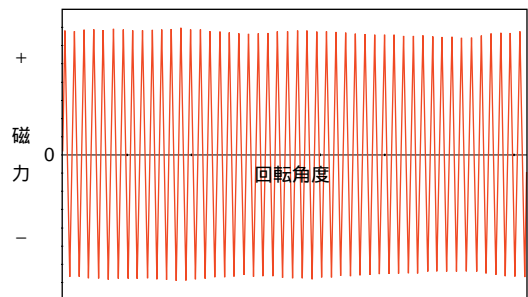
ゴムに磁性粉を充填した着磁ゴムを鋼製の芯金に接着し、円周方向にN/S極を等配に磁化させたものでNS極間の磁束を半導体素子を用いたセンサで検出。



着磁パルサリング構造



ハブユニット構造



磁束測定データ例

(軸受技術センター 自動車ユニット技術部)

光洋精工株式会社